

令和元年6月18日(火)

場 所 学校図書館

1. 単元名 『 平和について考えよう 』

～自分の未来に夢を持ち、平和な未来につなげよう～

2. 単元の目標

- 戦争や平和に関わる遺構や情報を見聞する体験活動や学習を通して、集めた情報を関連付けながら課題を解決するとともに、戦争の悲惨さや平和の大切さに気付く。

【知識及び技能】

- 戦争や平和に関する問いを見出し、課題の解決に向けて情報を収集、整理・分析していく中で、考えの根拠を明らかにし、わかりやすくまとめて表現する。

【思考力、判断力、表現力等】

- 戦争や平和について学んだり感じたりしたことを自分の生活と関連付け、自分ができることを考えて実行しようとする。

【学びに向かう力、人間性等】

3. つけたい情報活用能力

- 平和に関しての自分が追求したい課題を設定することができる。【課題設定】
- パスファインダーを使って、自分たちの課題に必要な情報を収集することができる。

【情報の収集】

4. 基盤（児童観は省略）

- 太平洋戦争では、本土空襲や沖縄戦、原子爆弾の投下など、多くの命が失われた。この経験から、戦後の日本は戦争をしない平和で民主的な国へと生まれ変わる事となった。しかし、半世紀以上も戦争をしない平和な日本は、戦争の苦い経験をした人たちを過去のものとしつつある。戦争が無いから平和なのではなく、平和を守る大切さを語り伝えているから戦争がないのだといえる。

このような戦争の悲惨さや平和への取り組みを知る機会として、本校では修学旅行の行き先を広島としている。修学旅行では、戦争や平和に関する多くの情報を得るだけでなく、戦争の悲惨さについて体験的に深く感じることができる。緑があふれる平和公園は、もともとは人が住む普通の街だったこと。壊れた形の原爆ドームは産業奨励館で、建物の中では人が働いていたこと。目の前を流れる川はたくさんの方が水を求めた場所だったこと。原爆が落ちて何年も経っているのに、13才の少女が原爆症で死んでいったこと。これらの事実を感覚として体験を通して捉えることは、平和のために自分には何ができるかと考えるための大きな力となり、探究的な活動につながりやすいといえる。

一方、現在の世界に目を向けると、依然として紛争や戦争の犠牲となる人たちが存在し、暴力で物事を解決しようという考え方も残っている。日本がどのように努力をして戦後の平和な国をめざしたのかということや、争いが続く世界情勢と自分たちの暮らしを対比して考えていくことも、国際協調の気持ちを高めていくきっかけになると考える。

- 本単元導入時（第1次）には学校図書館においてオリエンテーションを行い、学習の見通しをもたせる。担任は、国語の教科書にある「ヒロシマのうた」の第1場面を範読し、原爆が投下された時の様子について、ある程度のイメージをもたせたい。学校司書は、並行読書のための図書リスト作成と、関係する図書資料の紹介を行う。児童は、ここで紹介された図書資料を味見読書しておくことで、課題設定や資料探しがスムーズに行えると考ええる。

第2次からは修学旅行で行く広島を中心とし、「原子爆弾」に関係することから、戦争の悲惨さについて深く感じさせていく。まず、原爆や平和公園についての課題を設定し、学校司書が用意した図書リストの本や資料館のリーフレットなどから情報の収集を行っていく。これらの情報や疑問点が修学旅行でのより深い学びや新たな課題設定へとつながっていくと考える。

第3次以降は、広島で出会った人やものなどから学んだ経験をもとに、自分たちがさらに深めていきたい新しい課題や、自分にできることは何かを考えていく活動に発展させていきたい。

また、図書館活用教育の視点として、本単元で重点を置きたい情報活用能力は、「課題設定」と「まとめ、発表」の部分である。

課題設定の手立てとしては思考ツールを使い、自分の頭の中にある情報や思いついたこと、疑問に思うこと、調べてみたいことなどを書き出し、関連付けることにより、興味の方向性を明確にさせていきたい。

本時ではまず、修学旅行を通して改めて平和への思いを強くし、大切だと感じることであったであろう児童に、未来の平和のためには自分たちが何を発信していくかを考えさせたい。そして、自分たちがもっともっと情報を収集して、分かりやすく多くの人たちに伝えていきたいという思いをもって課題の設定を行わせたい。そのためには、広島で出会ったボランティアガイドさんの思いや行動を想起させたり、戦争と平和に関する新しい資料（現代の世界情勢や紛争の実態等）と出会わせたりして、現在や未来に目を向けるような手立てを行っていきたい。

ペア学習について

平和公園での情報収集はペアで行う。ペアに1台ずつのデジカメを持たせ、新しい情報に出会った時に「これは何だろうか？」「ここは写真に写して記録しておこうか？」など、対話をしながら活動を進めていくと考えている。そのため、個人で平和公園に向けての課題設定をしたあと、同じ課題や関連する課題を持っている者同士をペアにして活動を進めさせたい。第2次の図書資料による情報収集や、インタビューの計画場面においても、ペアで協力

しながら活動することで、より深い学びにつなげていきたいと考えている。

パスファインダーについて

あるテーマについて調べるときの参考になる資料や情報を紹介したもの。調べたいことが決まった時に、多くの図書資料の中から闇雲に探すのではなく、関連する資料のリストがあることで資料の絞り込みを行うことができ、情報収集の効率を高めることができる。

パスファインダーの中には、図書資料だけではなくインターネットのアドレスやパンフレットなどの情報も載せている。本校では、『おすすめ図書リスト』をもとにパスファインダーの作成に取り組み始めたところである。

本時では、「戦争と子ども」、「沖縄」、「世界の紛争」等、ある程度のまとまりになっているパスファインダーを、課題設定に困難さを感じる児童への支援ツールとしても使ってみたいと考えている。

ピクチャートークについて

本学級では『写真（ピクチャー）を提示し、写真についての説明やそこから連想する思いなどを、その場で話す（トーク）こと』に取り組んでいる。

第2次のまとめとして行うこのトークは、平和公園で見聞した場面の写真を自らが選び用いることで、自分が見聞したことや写真から読み取れる情報だけではなく、写真には表れていない背景の部分やその時の感情などについても話をするができる。また、全員が同じ体験をしている場所の写真なので、共感的に捉えてもらいやすく、自分の思いを表現する際に安心して話すことができると思われる。基本的には説明のための原稿を用意せず、話したいポイントをもとにその場で考えて話す方法で行いたい。この方法なら、伝えたい中身を簡単に書き記すメモだけで発信することができるので、書くことが苦手な児童も取り組みやすいと考えている。

5. 単元計画

学習課程 (時間数)	小単元の学習課題と学習活動	学校図書館の活用 【情報活用能力】
第1次	<p>① オリエンテーション</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平和学習への見通しをもつ。 ○学校司書による図書資料の紹介。 ○味見読書と並行読書を行う。 	<p>課題設定【情報源の決定・吟味】（読み物や資料の選書）</p> <p>情報の収集（味見読書・並行読書）</p>
第2次	<p>③ 修学旅行で行く平和公園や原子爆弾について知っていることを確かめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べていきたいことを考える。 ウエビングマップを使ってイメージを広げる。 	<p>課題設定【学習課題のたて方】</p> <p>課題設定【思考ツール】（ウエビングマップ）</p>

	④	平和公園や原子爆弾について調べてみよう	<p>情報の収集【図書資料活用の仕方】（太平洋戦争についてのブックリスト）</p> <p>情報の収集・整理（情報カード）</p> <p>情報の収集（インタビュー・デジタルカメラ）</p>
	⑤	○広島原爆による被害・影響について調べる。	
	⑥	○ヒロシマに関する事柄から自分の課題を設定する。	
	⑦		
	⑧	平和の祈りを込めて鶴を折ろう	
	⑨	○佐々木禎子さんの生涯について調べ、折り鶴を作る活動をする。	
	⑩	平和公園に来る人にインタビューしてみよう	
	○平和公園を訪れる外国人に聞く質問を考える。 ○英語での聞き方を ALT さんに教えてもらう。		
	行事	○広島原爆資料館を見学したり、平和公園内でインタビューをしたりする。 【修学旅行】	
	⑪	資料館などで得た情報を整理しよう	<p>情報の整理・分析【思考ツール】（ウェビングマップ KJ法）</p> <p>まとめ・表現（ピクチャートーク）</p>
	⑫	○情報の整理やまとめをする。	
	⑬	ピクチャートークをしよう	
		○平和公園で撮った写真をもとに、自分の思いをみんなに話す。	
第3次	⑭	広島で感じたことをもとに、新しい課題を考えよう	<p>課題設定【思考ツール】（ウェビングマップ）</p> <p>課題設定【計画を立てる】（新しい資料の提供）</p>
	【本時】	○前時のピクチャートークをふりかえる。 ○ペアで話し合いながら、自分たちの追究したい課題を設定する。	
	⑮	新しい課題について調べていこう	<p>情報の収集（選書のパスファインダー）</p> <p>情報の収集・整理（情報カード）</p>
	⑯	○原爆以外の日本の過去の戦争や、現在の紛争について調べる。	
	⑰	○身近な場所にも戦争や平和に関係する遺構や資料があることを知る。	
⑱	○図書資料から必要な情報を見つけ出し、情報カードにまとめる。 ○集めた情報を、比較・分析・整理する。		

第4次	⑰	調べたことを、まわりの人たちに伝えていこう	情報の整理・まとめ(図や表、グラフ、引用、まとめ方の選択、リーフレット)
	⑱	○比較・分析・整理した情報を使って、リーフレット等にまとめる。	
	⑳	効果的な発表の仕方を考えよう	まとめ・表現(ビデオカメラ、リーフレット、発表)
㉑	○プレゼン発表を行い、自分たちの様子をVTRで確認し、修正を加える。		
㉒	○お互いに発表し合い、意見交流する。 (渡津タイムやコミセンで、保護者や地域の方へ、多くの人に伝えていこう)		

6. 本時の活動(14/24時)

(1) 本時のねらい

- 友だちと意見を出し合いながら、平和への思いを大切に、これから追究していきたい課題を設定することができる。 【思考力・判断力・表現力等】

(2) 展開

時間	学習活動(○)と予想される子どもの反応(・)	教師の支援と評価(◎)
0分	1. 本時のめあてと第3次の見通しを確認する 広島で感じたことをもとに、新しい課題を考えよう	○新しい課題は、原爆についてさらに深く掘り下げてよいことを伝える。
10分	2. みんなのゴールを確認しよう ○平和について、全員でマッピングを使って、追究する課題の方向性を確認する。 ・「平和」について考えていきたいね。 ・修学旅行での情報を付け加えよう。 ・「大中さん」や「原爆ドームの保存」もあるよ。 ・広島以外でも同じことをしているのかな。	○前時のピクチャートークで使った写真や話した内容、初発のイメージマップを提示する。 ○修学旅行の経験を思い出させることで、平和を守る活動について意識を向けられるようにする。
	3. 新しい課題を決めるためにペアで話し合おう。 ①現時点での情報について確認して、疑問に思うことや調べてみたいことを一人ひとりが付箋にメモをする。(個人作業) ・今でも武器を作っているのはなぜか? ・原爆以外にも、戦争の被害を受けた場所があったのか?	○「△△なのはなぜなのか」、「△△になるためにはどうすれば良いのか」など、『問い』の文にすると課題にできることを伝える。 ○キーワードしか浮かんでこない児童には、『原因』、『目的』、

	<ul style="list-style-type: none"> • 世界ではどんな戦争が起きているのか？ ②付箋に書いたことをペアで検討しながら、KJ法でまとめていく。 • 「原爆」に関係することが多いね。 • これは「世界のこと」かなあ？ ③追究していきたい課題を決め、そのことを調べるためにはどの資料を使えばよいか、自分なりの答えはどうかなどの予想も行う。 • 大中さんのように平和を守る活動をしている人を調べていきたいね。広島以外にもそんな人はいるのかなあ？きっと長崎にはいるね。まずは、パスファインダーにあった「平和資料館」のHPを見てみようか。 • 戦争をなくすためには武器を無くせばいいと思うんだけど、どうして武器を作ろうとするのかなあ？「アメリカと武器作り」について調べたいけど、どこを探せばいいかなあ？司書の先生に相談してみよう。 ○追究したい課題が決まったペアは、資料探しに移行する。（パスファインダーをもらい、関連ある図書資料やキーワードについてパスファインダーにメモをする。） 	<p>『方法』などの支援カードを使い、問いの形で考えさせる。</p> <p>○課題の方向性が決まりにくいペアには「子どもと戦争」「武器」などの種類ごとにまとめたパスファインダーを紹介する。</p> <p>◎マッピングやペアでの検討から、追究する新しい課題を設定している。</p> <p>【図：課題設定】</p> <p>【総：主体的に学習に取り組む態度】</p>
35分	<p>4. 設定した課題を紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> • ペアで追求していきたい課題や設定の理由などについて全体に発表する。 	
43分	<p>5. 振り返りをする</p>	

【研究の視点】

- 付箋やマッピングなど、思考を支えるツールを使って話し合いをすることは、自分たちの追究したい課題を設定するのに有効であったか。

7. 研究協議の概要

参加者	校内 10名、校外 13名 計 23名
授業及び研究協議の概要	<p data-bbox="316 371 719 405">第6学年 総合的な学習の時間</p> <p data-bbox="316 427 405 461">単元名</p> <p data-bbox="316 483 1410 517">『 平和について考えよう 』 ～自分の未来に夢を持ち、平和な未来につなげよう～</p> <p data-bbox="316 539 405 573">ねらい</p> <p data-bbox="316 595 1410 741">戦争や平和に関する問いを見出し、課題の解決に向けて情報を収集、整理・分析していく中で、考えの根拠を明らかにし、わかりやすくまとめて表現する。【思考力、判断力、表現力】</p> <p data-bbox="316 763 464 797">授業の概要</p> <p data-bbox="316 819 1410 1032">前時までの学習で、広島に投下された原子爆弾を通して過去に起きた戦争の実態について学び、考えてきている。本時では、県内や市内の平和に関する新しい資料と出会い、自分たちがこれからの平和な未来をどう作るのか、学びの中から感じたことをどう伝えていくのか、新しい課題をペアで考える学習を行った。</p> <p data-bbox="316 1055 464 1088">協議の概要</p> <ul data-bbox="316 1111 1410 1834" style="list-style-type: none"> ・キーワードから「問い」を立てる支援カードを用意した。一つの事象を、原因、予測、具体例、解決策などのバリエーションにすることができ、多面的な捉えをするのに役立った。また、思いを言語化しにくい児童に対しても有効な手立てであった。 ・第2次までに作成したイメージマップへ書き足していく際に、透明シートを利用することで活動の前後比較をすることができた。 ・修学旅行での情報収集活動など、ペアでの活動を取り入れて行った。ペアで話し合うことで、協力しながら課題を追究していくことができるが、本当に自分が向き合いたかった課題とのずれが生じないか留意する必要があるのではないか。 ・個々の思いを引き出すための工夫は必要。 ・児童への提示をブックリストからパスファインダーへ変えた。調べたいことが明確になっていれば、調べるための手掛かりがあり、有効な手立てと考えられる。 ・KJ法を使ったが、その思考ツールを使いこなし、場面に適したツールを選択できるような力も必要であろう。